

Business Report



# ONO'S VIEW

## 第65期のご報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

小野薬品工業株式会社  
証券コード 4528

## Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain

病気と苦痛に対する人間の闘いのために

当社は、この企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けています。



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第65期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)につきましては、積極的な学術情報提供活動により主要新製品の売上拡大を図るとともに、経営全般の効率化に努めましたが、昨年4月の薬価引き下げと新たな後発医薬品使用促進策の影響により長期収載品の売上が減少し、減収減益となりました。

現在、医薬品業界においては、新薬創製の成功確率が年々低下し、世界的に研究開発コストが増大するとともに、種々の医療費抑制政策が進展するなど、厳しい環境が続いています。このような事業環境のなか、わたしたちは、新薬開発型医薬品企業として持続的な発展を実現するために、次のとおり取り組んでいきます。

## 開発パイプラインの拡充

持続的成長のためには、開発パイプラインを拡充し、継続的に新薬を市場に送り出していくことが不可欠です。世界最先端の技術を活用した、独創的かつ画期的な医薬品創製を加速する取り組みを進めるとともに、引き続き積極的なライセンス活動にも注力し、今後も継続的な新薬上市に繋がる開発パイプラインの拡充に努めます。また、拡充した開発パイプラインのPOC(Proof of Concept: 概念実証)の早期確立にも努めていきます。

## 海外展開の推進

自社創製の新薬を世界中でご使用いただけるよう、欧米にアジアを加えた海外での臨床開発を推進するとともに、提携企業への導出を通じ、自社創製化合物の海外での上市を目指し、グローバルな事業展開を推進します。また、海外展開を見据えた人材育成に取り組んでいきます。

## 企業基盤の強化

グローバルレベルでの競争力向上のため、人材の育成と活性化に努めます。また、多様性の向上や社内外の連携強化により、様々な環境変化への対応とイノベーションの実現を図ります。さらにCSR活動についても一層の推進に取り組みます。

わたしたちは、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けていきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

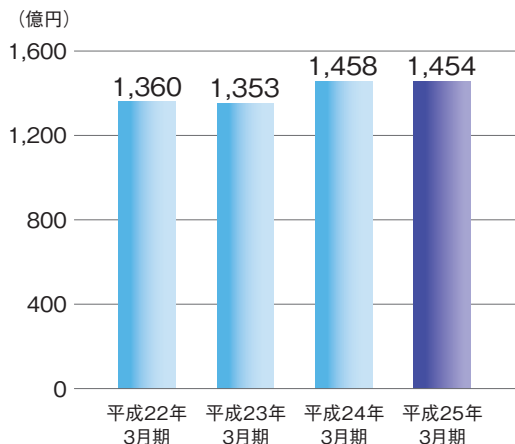


1968年(昭和43年)に中央研究所(現在の水無瀬研究所)の建設を記念して建立されたモニュメント。小野薬品の企業理念がここに刻まれています。

代表取締役社長 **相良 暁**

## 売上高

**1,454億円** 前期比 **0.3%減**

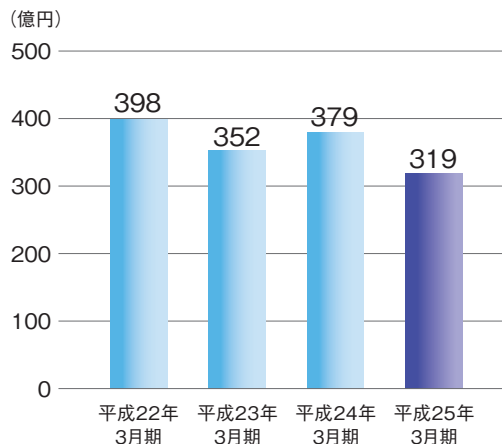


### 主要新製品は順調に推移するものの後発品の影響が大きく、微減収

2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」や骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」などの主要新製品の売上は増加したものの、薬価改定や後発医薬品使用促進策の影響による長期収載品の売上減少と、前期計上したライセンス収入の減少により、当期の売上高は前期比4億円(0.3%)減の1,454億円となりました。

## 営業利益

**319億円** 前期比 **15.8%減**

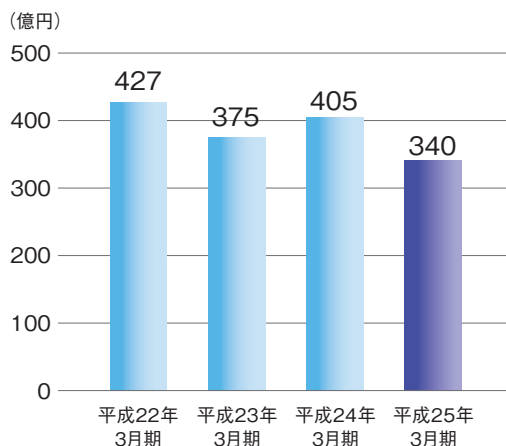


### 売上原価と販売費及び一般管理費の増加により減益

原価率の高い新製品(導入品)の売上拡大に伴い、売上原価が増加しました。また、営業関連経費は減少したものの、開発後期段階の化合物が増えたことによる研究開発費の増加などにより、当期の営業利益は前期比60億円(15.8%)減の319億円となりました。

## 経常利益

**340億円** 前期比 **16.1%減**

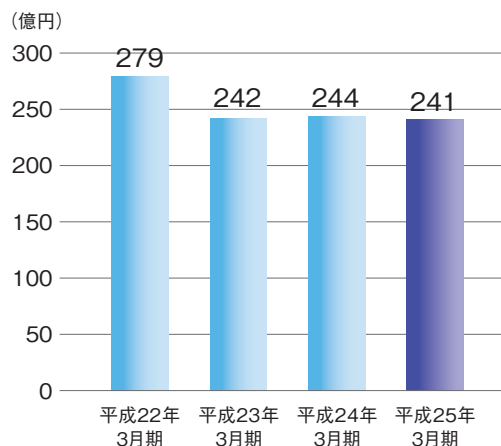


### 営業外収支の減少などにより減益

営業外収益が2億円減少し、営業外費用が3億円増加したことにより、当期の経常利益は前期比65億円(16.1%)減の340億円となりました。

## 当期純利益

**241億円** 前期比 **1.0%減**



### 特別損益の改善および 税負担減少するも、微減益

投資有価証券売却益の計上と投資有価証券評価損の減少により、特別損益が改善しました。また、法人税等の負担も大きく減少しましたが、当期純利益は前期比2億円(1.0%)減の241億円となりました。

## 財政状態

	前期末 (平成24年3月31日現在)	当期末 (平成25年3月31日現在)	増減
総資産 (億円)	4,364	4,556	+ 192
純資産 (億円)	4,010	4,233	+ 223
自己資本比率 (%)	91.2	92.2	+ 1.0
1株当たり純資産 (円)	3,753.04	3,961.55	+ 208.51

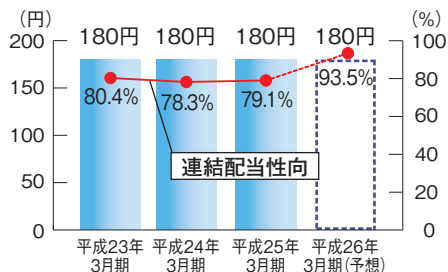
(単位:億円)

## キャッシュ・フローの状況

	前期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	増減
現金及び現金同等物期首残高	826	851	
営業活動によるキャッシュ・フロー	216	157	△ 60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1	72	+ 73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 191	△ 188	+ 2
換算差額	1	1	+ 0
増減	25	41	
現金及び現金同等物期末残高	851	891	

## 利益還元方針

〈過去3年の年間配当実績と次期予想〉



株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策の一つと位置づけ、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた成果の配分を行っていきたくと考えています。当期の期末配当金につきましては、1株につき90円とさせていただきます。これにより、年間にお支払いする配当金は、中間配当金90円と合わせて1株につき180円となります。次期の配当金につきましては、1株につき180円(中間90円、期末90円)を予定しています。

## 売上高

**1,483億円** 前期比 **2.0%増**

引き続き後発医薬品使用促進策の普及および浸透のマイナス影響が想定されるものの、「グラクティブ錠」「リカルボン錠」「リバスタッチパッチ」などの主要な新製品が引き続き伸長するものと見込んでおり、次期の売上高は前期比29億円(2.0%)増の1,483億円を予想しています。

## 営業利益

**279億円** 前期比 **12.6%減**

主要新製品(導入品)の売上伸長に伴う売上原価の増加と、開発ステージの進展やライセンス費用の増加および円安の影響などによる研究開発費の大幅な増加が見込まれます。また、その他の販売費及び一般管理費も増加する見込みであり、次期の営業利益は前期比40億円(12.6%)減の279億円を予想しています。

## 経常利益

**290億円** 前期比 **14.6%減**

低金利の継続による営業外収益の減少と営業外費用の増加により営業外収支が減少すると見込んでおり、次期の経常利益は前期比50億円(14.6%)減の290億円を予想しています。

## 当期純利益

**204億円** 前期比 **15.4%減**

税金費用は減少するものの、平成25年3月期に計上した投資有価証券売却益を見込んでいないことなどにより、次期の当期純利益は前期比37億円(15.4%)減の204億円を予想しています。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	前期 平成24年 3月31日現在	当期 平成25年 3月31日現在	科目	期別	前期 平成24年 3月31日現在	当期 平成25年 3月31日現在
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>流動資産</b>		<b>202,235</b>	<b>214,741</b>	<b>流動負債</b>		<b>31,041</b>	<b>25,786</b>
現金及び預金		20,959	24,261	支払手形及び買掛金		5,767	4,243
受取手形及び売掛金		37,853	37,822	1年以内に返済予定の長期借入金		1	101
有価証券		104,813	105,877	未払法人税等		8,875	5,606
たな卸資産		18,637	23,409	引当金		5,858	5,838
繰延税金資産		14,808	17,152	その他		10,538	9,996
その他		5,168	6,224	<b>固定負債</b>		<b>4,403</b>	<b>6,495</b>
貸倒引当金		△ 5	△ 5	長期借入金		11	134
<b>固定資産</b>		<b>234,177</b>	<b>240,830</b>	長期未払金		72	72
<b>有形固定資産</b>		<b>47,979</b>	<b>49,630</b>	引当金		1,659	1,107
建物及び構築物		22,643	21,780	繰延税金負債		22	2,500
土地		22,549	23,479	再評価に係る繰延税金負債		2,569	2,569
その他		2,786	4,370	その他		67	109
<b>無形固定資産</b>		<b>994</b>	<b>1,383</b>	<b>負債合計</b>		<b>35,445</b>	<b>32,281</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>185,203</b>	<b>189,817</b>	<b>(純資産の部)</b>			
投資有価証券		168,690	180,200	<b>株主資本</b>		<b>401,021</b>	<b>406,048</b>
繰延税金資産		4,579	34	資本金		17,358	17,358
その他		11,941	9,590	資本剰余金		17,079	17,079
貸倒引当金		△ 8	△ 8	利益剰余金		425,787	430,824
				自己株式		△ 59,204	△ 59,214
				<b>その他の包括利益累計額</b>		<b>△ 3,129</b>	<b>13,940</b>
				その他有価証券評価差額金		5,725	22,451
				土地再評価差額金		△ 8,577	△ 8,577
				為替換算調整勘定		△ 277	67
				<b>少数株主持分</b>		<b>3,076</b>	<b>3,301</b>
				<b>純資産合計</b>		<b>400,968</b>	<b>423,290</b>
<b>資産合計</b>		<b>436,413</b>	<b>455,572</b>	<b>負債純資産合計</b>		<b>436,413</b>	<b>455,572</b>



## 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高		145,778	145,393
売上原価		28,986	33,983
売上総利益		116,792	111,409
販売費及び一般管理費		78,888	79,488
(研究開発費)		(44,382)	(45,436)
営業利益		37,904	31,921
営業外収益		3,446	3,208
営業外費用		896	1,175
経常利益		40,454	33,953
特別利益		272	771
特別損失		717	66
税金等調整前当期純利益		40,009	34,658
法人税、住民税及び事業税		15,525	11,858
法人税等調整額		△ 150	△ 1,541
少数株主損益調整前当期純利益		24,634	24,341
少数株主利益		273	221
当期純利益		24,360	24,120

※1株当たり当期純利益

229円78銭

227円51銭

## 連結株主資本等変動計算書の要旨

(単位:百万円)

	当期首	当期中の	当期末
	平成24年 4月1日現在	変動額	平成25年 3月31日現在
資本金	17,358	—	17,358
資本剰余金	17,079	—	17,079
利益剰余金(注)	425,787	5,037	430,824
自己株式	△ 59,204	△ 9	△ 59,214
株主資本合計	401,021	5,027	406,048
その他有価証券評価差額金	5,725	16,725	22,451
土地再評価差額金	△ 8,577	—	△ 8,577
為替換算調整勘定	△ 277	344	67
その他の包括利益累計額合計	△ 3,129	17,069	13,940
少数株主持分	3,076	225	3,301
純資産合計	400,968	22,322	423,290

(注)利益剰余金の変動要因

当期純利益 24,120百万円

剰余金の配当 △ 19,083百万円

## 主な製品の売上高の状況

製品名	平成24年度 売上高(実績) (億円)	対前期 増減率 (%)	平成25年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率 (%)
グラクティブ錠	348	+ 24.7	400	+ 15.1
オパールモン錠	339	△ 14.1	310	△ 8.6
オノンカプセル	161	△ 15.6	125	△ 22.6
リカルボン錠	77	+ 117.6	105	+ 37.2
イメンド／プロイメンド	79	+ 18.0	95	+ 19.9
フオイバン錠	88	△ 13.7	80	△ 8.8
キネダック錠	87	△ 22.6	80	△ 7.8
ステープラ錠	64	+5.3	70	+ 8.6
オノンドライシロップ	73	△ 3.7	70	△ 4.5
リバスタッチパッチ	39	+ 216.9	65	+ 66.6
注射用オノアクト	37	+ 10.5	45	+ 21.9
注射用エラスポール	39	△ 10.9	35	△ 9.8

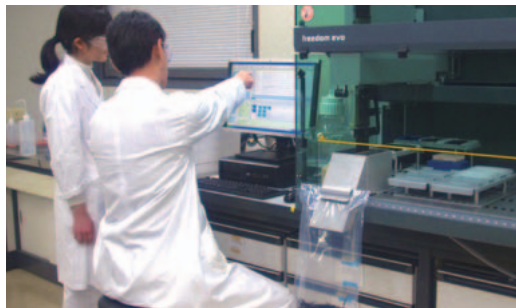
## 「注射用オノアクト®50」心機能低下例における頻脈性不整脈の効能追加申請



平成25年2月に「心機能低下例における頻脈性不整脈(心房細動・粗動)」の効能を追加申請しました。

本剤は短時間作用型 $\beta_1$ 受容体遮断剤で用量調整性に優れるため、過度な心機能の低下をもたらすことなく早期に心拍数を減少させる効果が期待されます。本剤はすでに、手術時、手術後の循環動態監視下における頻脈性不整脈に対する緊急処置の効能・効果を有しており、これまでも多くの患者さんにご使用いただいています。

# 真に患者さんのためになる 医薬品を開発して社会に貢献する



わたしたちは「真に患者さんのためになる医薬品を開発して社会に貢献する」ことを研究開発理念とし、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。

現在開発パイプラインには、抗体医薬品を含む抗がん剤、がん悪液質の治療薬、オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘の治療薬など、がん治療およびその支持療法の領域の新薬候補化合物をはじめ、多発性硬化症や関節リウマチの治療薬候補などがあり、早期の上市に向けて開発を進めています。

創薬の方針としては、これまで新薬創製のプ

ロセスにおいて、特定の疾患を対象とするのではなく、脂質や酵素阻害などを重点領域と定め、各種標的に対する作用を持つ化合物をライブラリーとして蓄積し、そのなかから疾患や治療に結びつく薬剤を探し出す「化合物オリエント」という創薬手法で独創的な新薬の創製を行ってきました。現在、豊富に蓄積されたライブラリーを有効に活用するとともに、疾患や治療に関連した化合物をより早く高い精度で探し出すことができる技術を導入するなど、改良を加えた新たな「化合物オリエント」による新薬創製を進めています。また、世界最先端の知見や技術を有する研究機関や大学、ベンチャー企業などとの提携を機動的に行い、創薬研究の効率を高め、新薬創製の成功確率を向上させます。

今後も国内外での世界最先端技術を活用した独創的かつ画期的な医薬品の創製を目指すとともに、ライセンス活動による有望な化合物の導入などにより、質の高い新薬候補化合物の拡充にも努めるなど、研究開発活動の一層の強化に取り組みます。

## 開発品の進捗状況(国内)

(平成25年5月13日現在)

製品名 (開発コード)	対象疾患	薬理作用	開発ステージ			
			PI	PII	PIII	申請
オレンシアSC (ONO-4164SC)	関節リウマチ	T細胞活性化抑制作用	→	→	→	→
グラクティブ錠12.5mg (ONO-5435)	2型糖尿病(剤型追加)	DPP-4阻害作用	→	→	→	→
注射用オノアクト50 (ONO-1101)	心機能低下例における 頻脈性不整脈	$\beta_1$ 遮断作用(短時間作用型)	→	→	→	→
グラクティブ錠 (ONO-5435)	2型糖尿病(速効型インスリン 分泌促進薬との併用療法)	DPP-4阻害作用	→	→	→	→
グラクティブ・メホルミン配合錠 (ONO-5435A)	2型糖尿病	DPP-4阻害作用および肝糖新生抑制 作用・インスリン抵抗性改善作用	→	→	→	→
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847)	抗悪性腫瘍剤投与に伴う 悪心・嘔吐(小児)	ニューロキニン1受容体拮抗作用	→	→	→	→
リバスタッチパッチ (ONO-2540)	アルツハイマー型認知症 (用法変更)	コリンエステラーゼ阻害作用	→	→	→	→
ONO-4538	腎細胞がん	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→	→	→
オレンシアIV (ONO-4164IV)	若年性特発性関節炎	T細胞活性化抑制作用	→	→	→	→
オレンシアIV (ONO-4164IV)	ループス腎炎	T細胞活性化抑制作用	→	→	→	→
ONO-2745	全身麻酔	GABA <sub>A</sub> 受容体作動作用 (短時間作用型)	→	→	→	→
ONO-7165	非小細胞肺癌	腫瘍抗原MUC-1由来ペプチドワクチン	→	→	→	→
ONO-4641	多発性硬化症	S1P受容体作動作用	→	→	→	→
ONO-3849	オピオイド鎮痛薬の使用に 伴う難治性便秘	$\mu$ オピオイド受容体拮抗作用	→	→	→	→
ONO-7643	がん悪液質	グレリン様作用	→	→	→	→
ONO-4538	悪性黒色腫	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→	→	→
ONO-4538	非小細胞肺癌	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→	→	→
ONO-2745	ICU鎮静	GABA <sub>A</sub> 受容体作動作用 (短時間作用型)	→	→	→	→
ONO-7057	多発性骨髄腫	プロテアソーム阻害作用	→	→	→	→
ONO-5163	二次性副甲状腺機能亢進症	カルシウム受容体作動作用	→	→	→	→
ONO-6950	気管支喘息	ロイコトリエン受容体拮抗作用	→	→	→	→

ONO-7056	固形がん	Rasシグナル阻害作用	→			
ONO-7268MX1	肝細胞がん	ペプチドワクチン	→			
ONO-1162	慢性心不全	Ifチャネル阻害作用	→			
ONO-2160/CD	パーキンソン病	レボドパプロドラッグ	→			

## 開発品の進捗状況（海外）

（平成25年5月13日現在）

製品名 （開発コード）	対象疾患	薬理作用	開発ステージ			
			PI	PII	PIII	申請
ONO-4538	腎細胞がん	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→	→	
ONO-4538	非小細胞肺がん	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→	→	
ONO-4538	悪性黒色腫	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→	→	
ONO-4641	多発性硬化症	S1P受容体作動作用	→	→		
ONO-6950	気管支喘息	ロイコトリエン受容体拮抗作用	→	→		
ONO-4053	アレルギー性鼻炎	プロスタグランジンD2受容体拮抗作用	→	→		
ONO-2952	過敏性腸症候群	TSPO(トランスロケータープロテイン)拮抗作用	→	→		
ONO-8539	胃食道逆流症	プロスタグランジン受容体(EP1)拮抗作用	→			
ONO-4538	C型肝炎	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→		
ONO-7746	血小板減少症	トロンボエチン受容体作動作用	→	→		
ONO-9054	緑内障・高眼圧症	プロスタグランジン受容体(FP/EP3)作動作用	→	→		
ONO-4059	B細胞リンパ腫	Bruton's tyrosine kinase(Btk)阻害作用	→	→		
ONO-8055	低活動膀胱	プロスタグランジン受容体(EP2/EP3)作動作用	→	→		
ONO-4538	血液がん	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→		
ONO-4538	肝細胞がん	完全ヒト型抗PD-1抗体	→	→		

→ は前回ご報告（平成24年11月5日時点）からの進捗

## Bial社（ポルトガル）とライセンス契約を締結

当社は、平成25年4月、ポルトガルのBial社がパーキンソン病における症状の日内変動の治療薬として海外で開発中の、長時間作用型COMT阻害剤「Opicapone（一般名）」に関して、日本における独占的な開発販売権を取得しました。



Bial社

平成23年の「患者調査」（厚労省調査）によると、日本国内のパーキンソン病患者数は約14万1千人とされており、高齢化の進展により今後さらに増加することが予想されます。現在のパーキンソン病の主な治療薬であるレボドパ製剤は、病状の進行に伴って効果の持続時間が短くなる現象が課題となっており、COMT阻害剤はそれを改善するために使用されます。現在国内で使用されている既存のCOMT阻害剤は1日に複数回服用する必要がありますが、「Opicapone」はこれまでの臨床試験において1日1回の服薬により効果が示されており、服薬利便性の向上が期待されます。

## 中国におけるリマプロストに関する事業展開について合意

当社は、大日本住友製薬株式会社との共同研究により創製され、それぞれ「オパルモン錠」「プロレナル錠」という製品名で販売中の末梢循環障害治療剤「リマプロスト（一般名）」に関する中国での事業展開について、平成25年5月に同社と合意しました。

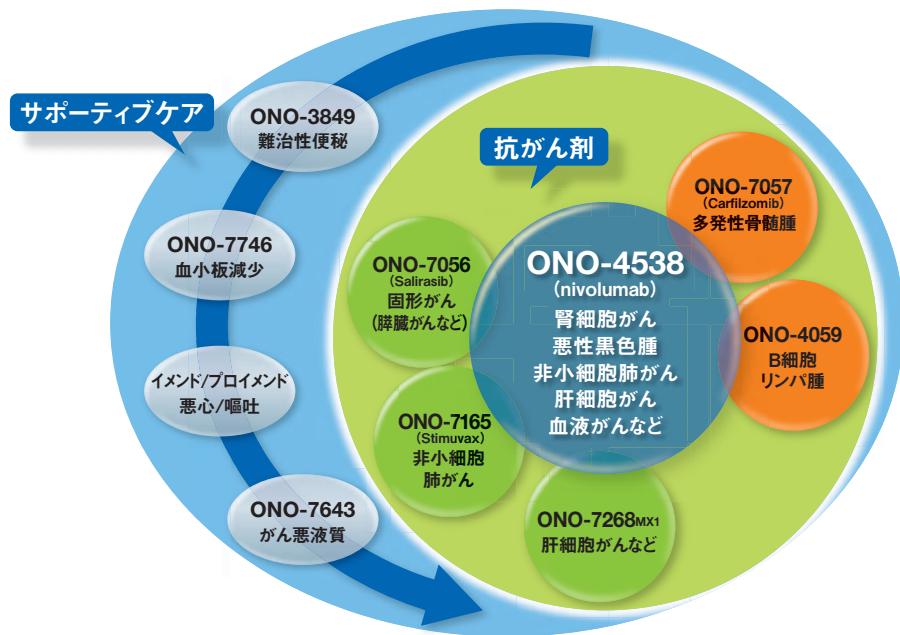
当社は、中国において腰部脊柱管狭窄症に対する適応取得を目的に開発を行い、販売承認取得後、大日本住友製薬株式会社の中国子会社である住友制薬（蘇州）有限公司に、中国での同剤の独占的販売権を許諾します。

中国において高齢化の進展とともに腰部脊柱管狭窄症患者の増加が予想されることに加え、同疾患においていまだ有効な治療薬が存在しない状況から、国内におけるリマプロスト事業提携を中国にも拡大することとしました。

## がん領域への取り組み

当社は、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。特に、がん治療およびその支持療法の領域はいまだ満たされない医療ニーズが高いことから、当該領域を戦略分野と位置づけ、開発パイプラインの拡充を図っています。現在開発パイプラインには、抗体医薬を含む抗がん剤、がん悪液質の治療薬、オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘の治療薬、抗がん剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤などがあります。なかでも、最も期待の大きいがん治療薬「ONO-4538」は、悪性黒色腫、非小細胞肺がん、腎細胞がんを対象としたフェーズⅢ試験、血液がん、肝細胞がんを対象としたフェーズⅠ試験を実施しています。

### がん患者さんの包括的薬物治療





## 認知症医療と啓発のための取り組み

わたしたちは、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」による医療貢献のみならず、認知症の方や治療、介護に携わる方々、社会に対して、多様な取り組みを推進しています。認知症の方はもちろん、ご家族や医療従事者など、認知症と向かい合う方々をさまざまな形で応援します。

### 「リバスタッチパッチ」を中心に広がる、私たちの4つの取り組み

#### 1 MR研修の推進



#### 2 認知症医療WEBサイトの運営



アルツハイマー型  
認知症治療剤  
リバスタッチパッチ



#### 3 「ふれあいつながる作品展」の実施

#### 4 認知症啓発ショートムービーの制作

### 1 認知症に対する理解を深める MR(医薬情報担当者)研修の強化

認知症について正しい知識を持ち、認知症の方やご家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域をつかっていくことを目的とした「認知症サポーター養成講座」をMR全員が受講し、サポーターとして活動しています。また医療機関などで研修を実施し、MR全員が認知症の方やご家族、医療・介護関係者の方々と実際に触れ合うことにより多くのことを学び、MR活動に生かしています。



## 2 情報発信と関係者のきずなづくりのための 認知症医療WEBサイトの運営

認知症の治療や介護に携わる方々の声を広く発信し、ともに認知症について考えるWEBサイト「笑顔とところでつながる認知症医療」を立ち上げています。認知症を地域で支え合う医療従事者の方々の熱心な取り組みや工夫、そこから生まれる笑顔などを紹介しています。

## 3 認知症の方やご家族の喜びのきっかけに 「ふれあいつながる作品展」の実施

医療施設などにおいて認知症の方々が制作された作品（絵画・陶芸・書道など）を認知症医療WEBサイト「笑顔とところでつながる認知症医療」で募集し、同サイト上で紹介します。医療施設内での展示だけにとどまらず、サイトを通じて広く紹介することで、ご本人はもちろん、周囲の方々の充実感や喜びにつなげることを目的としています。

## 4 認知症の正しい理解をめざして 認知症啓発ショートムービーの制作

認知症啓発活動の一環として、ショートムービー「バアちゃんの世界」を制作し、当社が運営するサイト上で公開しています。アルツハイマー型認知症の方によくみられる症状に対してご家族がどのように行動し、どう乗り越えていったかなどを描いた内容となっています。

## 第6回企業ウェブ・グランプリの2部門で優秀賞を受賞

企業ウェブ・グランプリは平成19年に創設されたもので、当初は参加企業の自主運営でしたが、平成24年度は総務省の後援を得て開催されました。

本グランプリでは49社の133サイトを対象として審査が行われ、WEBサイト「笑顔とところでつながる認知症医療」が「コンテンツ企画&ライティング(B2B)部門」、ショートムービー「バアちゃんの世界」が「社会貢献・CSR部門」で、それぞれ優秀サイトとして表彰されました。



表彰状と盾

- ▶ WEBサイト「笑顔とところでつながる認知症医療」 <http://www.egaotokokoro.jp/>
- ▶ 認知症啓発ショートムービー「バアちゃんの世界」 <http://www.egaotokokoro.jp/ba-chan/>

## ■ 会社概要

社名	小野薬品工業株式会社
英文社名	ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
創業	享保2年(1717年)
設立	昭和22年(1947年)
資本金	17,358,275,607円
事業内容	医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売
従業員数	2,807名(連結) 2,540名(単体)

## ■ 主要な事業所

本社	〒541-8564 大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔 登記簿上の本店所在地 大阪市中央区道修町二丁目1番5号 〕
支店	札幌支店、仙台支店、東京第一支店、 東京第二支店、北関東支店、甲信越支店、 横浜支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、 神戸支店、高松支店、広島支店、福岡支店 (その他全国の主要都市に営業所等を設けています)
工場	城東工場(大阪府)、フジヤマ工場(静岡県)
研究所	水無瀬研究所(大阪府)、福井研究所、 筑波研究所(茨城県)
海外子会社	オノ・ファーマ・ユー・エス・イー・インク(米国ニュージャージー州) オノ・ファーマ・ユー・ケー・リミテッド(英国ロンドン)

## ■ 取締役

代表取締役 取締役社長	相良 暁
取締役 副社長執行役員	栗田 浩
取締役 専務執行役員	佐野 敬
取締役 常務執行役員	川 澁 和 一 十
取締役 常務執行役員	藤 吉 信 治
取締役 執行役員	小 野 功 雄
取締役 執行役員	高 橋 文 夫
取締役 執行役員	福 島 大 吉

## ■ 監査役

常勤監査役	島 田 重 夫
常勤監査役	西 村 勝 義
社外監査役	間 石 成 人
社外監査役	荒 木 靖 夫

## ■ 株式数

- 発行可能株式総数 …………… 300,000,000株
- 発行済株式の総数 …………… 117,847,500株  
(自己株式11,819,124株を含む)

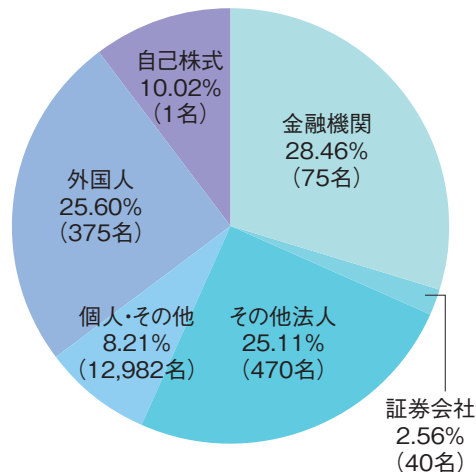
## ■ 株主数 …………… 13,943名

## ■ 大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,085	5.73
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	5,831	5.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,339	5.03
明治安田生命保険相互会社	3,718	3.50
株式会社 鶴鳴荘	3,298	3.11
公益財団法人 小野奨学会	3,285	3.09
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	3,102	2.92
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	2,049	1.93
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,978	1.86
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,728	1.62

- (注) 1. 当社は自己株式11,819千株を保有していますが、上記大株主には記載していません。  
2. 持株比率は、自己株式(11,819千株)を控除して算出しています。

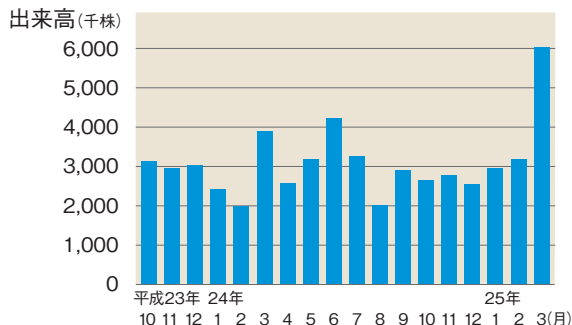
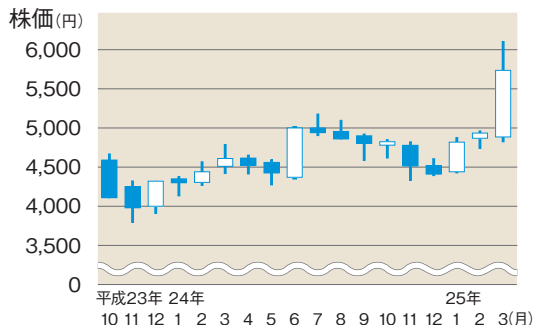
## ■ 所有者別の株式分布状況



(注) 比率は、小数点第3位以下を切り捨てているため、各項目の比率を  
加算しても100%になりません。

## ■ 株価および株式売買高の推移

(大阪証券取引所)



# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会・期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告を掲載するホームページのアドレス <a href="http://www.ono.co.jp/">http://www.ono.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所(証券コード4528) ※ 東京証券取引所と大阪証券取引所の現物市場の統合に伴い、平成25年7月16日から東京証券取引所(市場第1部)となる予定です。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金のお支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページアドレス

<http://www.ono.co.jp/>



責任ある森林管理  
のマーク  
FSC® C022784

2013.6